

兵庫県普通科校長会に参加して 9月11日に県普通科校長会がありました。公立高校の先生方ともお会いできる機会なので



公立高校の現状や県の情勢を聞くことができました。講演では経営ストラテジストで作家の坂之上洋子氏が「AI時代の教育で1番大切なこと」というテーマで話をされました。AIの技術は日ごとに進歩しており、会話も友達感覚でできるようで、普段あまり使っていない私は驚くばかりでしたが、これからもっと進化していく上で大事になっていくのは「変化は必ず起きるので、

変化を恐れず、失敗を恐れず、行動する力が大切になってくる」ということさらに「AIが作る動画や答える内容に反射的に反応せず止まって考えること」であると話されました。また坂之上氏は42Tokyoという授業料無償のプログラミングを学ぶ学校も設立され、成功を収められているということで、その一因は、「ディベートで意見を言い合うこと」と「掃除をすること」にあると話されました。そして期待を込めて「胆力(我慢する力)を持てる生徒を育成してください」と締めくくられました。講演の途中には「感謝の気持ちを持つこと、自分の力を過信せずいろいろな見方があるという謙虚な姿勢を持つこと」といったAIとは一見関係のないような一般的な話を盛り込まれ、AIを突き詰めれば突き詰めるほど原点に戻るような気がしているとおっしゃっていました。今後教科「情報」が進んでいく中で、その取り扱いや守るべきことなどマナーや人としての姿勢は大事になってきます。そういったことを改めて感じさせてもらった講演でした。

情勢報告では、次の学習指導要領についての考え方や進め方が報告されました。高校では令和14年入学生からの完全実施に向けて令和10年に改訂、3年の移行期間を経て実施されます。前期後期で単位を認めたり、学校での教育課程の裁量が増えたりするなど各学校で特色をだしていくことになります。本校でも選択科目の導入も含め生徒の学びたいものを学べるような教育課程作成に向け動き出しているところですが、それを加速していかなければなりません。また、①主体的・対話的で深い学びの実装②多様性の包摂③実現可能性の確保が3本柱となり、「生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む」ことを目指します。国や県が目指す方向をしっかりと踏まえるとともに生徒の実態に合わせた教育を実践し、一人ひとりをしっかりと伸ばしていくことが求められていることを実感しました。このような機会をいただけたことに感謝です。ありがとうございました。

学校説明会 9月12日サンポーホールで明光義塾主催の学校説明会が行われました。入試広報部の先生方が本校の取組や良さを本校に関心を持った中学生、保護者の皆様に説明させていただきました。夏季休業中には多くの先生方にお手伝いいただきましたが、今後、中学校や塾を回っていただき、本校のPRをしていただきます。今回も熱心に本校の情報を聞いていただきました。26日には3回目のオープンスクールがあります。いよいよ次年度入試に向けた動きが加速してきました。あと2回のオープンスクールと入試説明会でしっかりとPRして受験していただけるよう努めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



大会結果 9月12日・13日と柔道全日本ジュニア大会があり、本校から**柔道部**女子3年田岡選手と男子2年前田選手が出場しました。大学生や選抜大会上位の選手と対戦し、2人とも力を発揮できたようですが、上位には食い込めなかったようです。この経験を活かして次のステージに向かって頑張ってください。お疲れ様でした。**硬式野球部**は県秋季大会1回戦に臨み、三田学園高校と対戦しました。1年桧山投手が先発し、1回から好投を見せ要所要所を締めていきました。打線は相手投手の前に抑え込まれ、チャンスを作れずに苦戦しましたが、初回到四球と盗塁でランナー2塁から相手のミスで得点。ノーヒットで得た得点を我慢強い守備と好判断で守り抜き終盤へ。8回強風にあおられた打球が幸運にもヒットになった相手の攻撃も最後は三振で凌ぐと8回裏の攻撃で、これも相手のミスからチャンスを広げ、2年今津選手が2点タイムリーを放ち3-0になり、9回の守備ではきっちりと3人で締めくくりゲームセット。初戦に勝利し、21日神戸国際大附属高校との対戦が決まりました。自分たちの良さをしっかりと出して頑張ってください。お疲れ様でした。

